



JICC

日本国際クルーズ協議会
Japan International Cruise Committee



2021年1月
2021年4月9日

準備委員会発足、活動開始
正式設立

【会長】 堀川 悟 カーニバルジャパン 代表取締役社長
【副会長】 糸川 雄介 前シルバーシークルーズ 日本・韓国支社長
【会計監査】
【事務局長】 山本 三夫 みなと総合研究財団 クルーズ総合研究所 所長

※2026.1.22現在

正会員

カーニバル・ジャパン プリンセスクルーズ、コスタクルーズ、MSCクルーズ、MSCクルーズエクスプローラジャーニー
ノルウェージャンクルーズライン、オーシャニアクルーズ、リージェントセブンシーズクルーズ
ポナン、シルバーシークルーズ、ジャパングレイス、Royal Caribbean Group、クルーズコンタクトジャパン ※2026.1.22現在



準会員

販売総代理店(GSA)、旅行会社、船舶代理店、ランドオペレーター 29社

事務局

一般財団法人 みなと総合研究財団 クルーズ総合研究所

JICC 設立の目的と事業方針

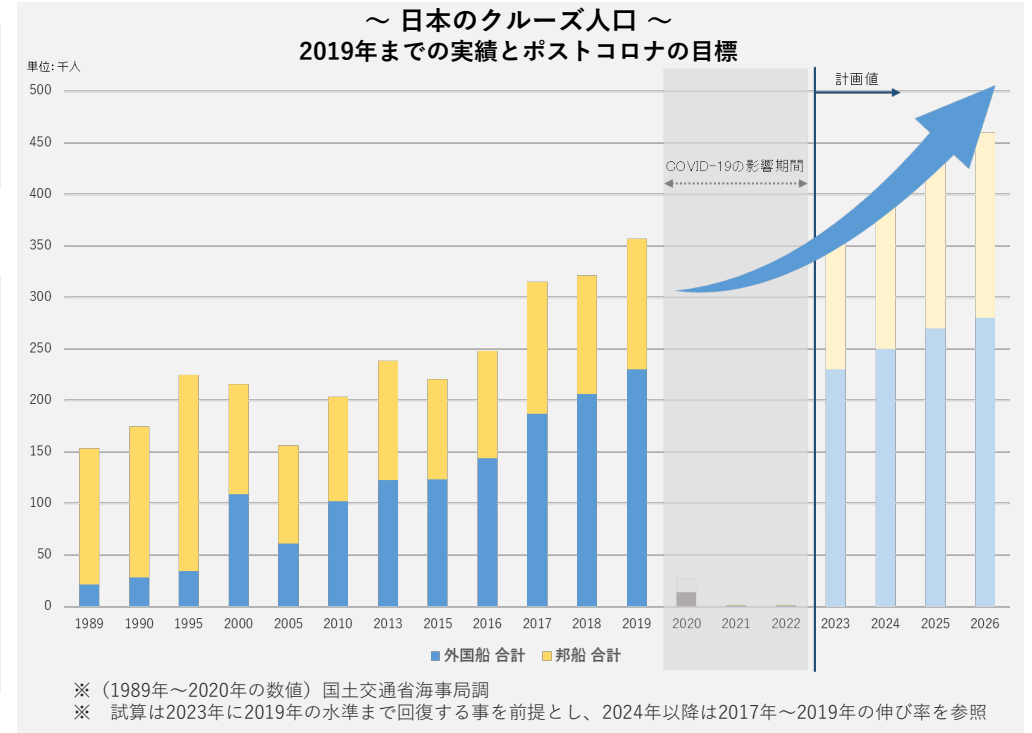
目的

国際クルーズ船の日本発着・寄港を活発化し
日本におけるクルーズの振興、地方創生に寄与すること

目標

- 2022年日本発着国際クルーズの再開
- 2022年海外発着(フライ&クルーズ)クルーズの再開
- その後、日本寄港国際クルーズ再開

- 2024年までにクルーズ人口を
2019年同等比(35万人)まで復活させる



事業方針

- ① COVID-19の影響により運航が休止している日本での「国際クルーズ」の一日も早い再開のため、会員各社のクルーズ船の感染予防対策の徹底とその感染予防対策を全国の港湾管理者を始めとする関係者、クルーズ船利用者等へ安心・安全なクルーズを周知し理解を促す
- ② 日本周辺における新たなクルーズの開発等に取り組み、COVID-19の感染拡大以前のクルーズ船利用者数を目指して、クルーズ関係者の結集により日本周辺を含むクルーズの魅力の世界に発信

クルーズ再開に向けた取り組み

- 各関係機関(政府及び港湾管理者)と綿密な連携を取り、運航再開に向けた共通の手順の整備
- 港湾管理者(全国クルーズ活性化会議)との意見交換会
- プロモーション部会・オペレーション部会・広報委員会・その他ワーキンググループにて正・副会員各社を含めた横断的な意見交換及び今後の方針案検討
- 海外での先進事例の情報共有
- クルーズの安心・安全の発信に向けたPR活動(今後セミナー開催など)

クルーズ回復に向けた取り組み

- 関係する各業種連携のプラットフォームとして情報共有など相互連携の場を形成
- 世界のクルーズマーケット動向把握
- 魅力的なクルーズ商品造成のベースとなる寄港地及び周辺海域の魅力を探し発信できるよう港湾・地域との有効な連携を図っていく

JICC 委員会・専門部会・ワーキンググループについて

正会員・準会員の業種をもとに

委員会

- 広報委員会

専門部会

- プロモーション部会 船社・GSA・旅行会社
- オペレーション部会 船社・船舶代理店・ランドオペレーター



MSC



NORWEGIAN
CRUISE LINE®

OCEANIA
CRUISES®



PRINCESS®

Regent
SEVEN SEAS CRUISES®



SILVERSEA®